



医機連会長就任にあたって

～ Society5.0を支える医療機器産業を目指して～

(一社) 日本医療機器産業連合会 会長 **渡部 眞也**

この度、医機連会長を拝命しました渡部でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。まず、前任の中尾会長は、医療保険制度改革への対応、次世代を担う人材育成、海外ネットワークの強化など、4年間会長として業界の発展をリードして頂いた事に心よりお礼を申し上げます。

日本は超高齢化により様々な社会課題が顕在化し、健康・医療や介護のあり方が大きく変わろうとしています。地域包括ケアシステム、社会保障を持続的なものとするための制度改革、官民データ活用などの諸施策が進められています。また、Society5.0を「狩猟」「農耕」「産業」「情報」に続く新たな時代と位置付け、デジタル技術を活用して、自立的で個性豊かな社会、新産業の創出などに向けた取組みが進められています。こうした中で、医療機器産業の果たす役割に対し大きな期待があります。医機連のビジョンである「優れた医療機器・医療技術の開発と供給を通じて、医療の進歩と医療機器産業の発展に貢献する」を引続き基本とし、さらに、社会の変化や要請に積極的に応え、新しい時代を様々なステークホルダーと一緒に切り拓いていくことが重要です。

■成長産業としての基盤整備

医療関連分野は成長産業として位置付けられており、医療機器においては技術イノベーションの継続、産業の裾野拡大、ICTやAI（人工知能）などの新しい技術応用などが重要なテーマです。こうした中で、医療機器産業の発展に向けて、医工連携、人材育成、知財、標準規格、認証基準など様々な基盤整備について取組んで参ります。また、日本の医療の世界への発信、グローバル化がますます重要になってきますので、これまでの取組みを加速していきます。

■政策提言とステークホルダーとの連携促進

政策提言力の強化は医機連の重要な役割の一つであり、健康・医療や介護の改革が進展する中で行政に対し適切でタイムリーな対応を進めていきます。また、医療現場、アカデミア、地域、関連産業など多くのステークホルダーとの連携を強化するとともに、国民やマスコミの方々への周知活動に取組み、プレゼンスを向上させていきます。

■信頼される産業団体

医療機器産業として、医療の安全安心への貢献は最優先です。また、薬機法はもとより、競争法、個人情報保護法、臨床研究法などを遵守し、社会から信頼される産業であり続けることが重要です。近年では、環境への配慮、サイバーセキュリティ対応なども新たなテーマです。

医機連は、連合会としてのトータルパワーを集結し、また正会員21団体のそれぞれの活動を支援し、医療の進歩と医療機器産業の健全な発展に取組んでいきます。皆さまの絶大なるご支援、ご協力をお願い致しまして、私の医機連会長就任のご挨拶とさせていただきます。